



地域交流活動かわら版



第27回三鷹市民駅伝大会、開催!



～本学学生が今年も救護ボランティアスタッフとして参加しました～

2018年11月25日(日)午前8時から正午にかけて第27回三鷹市民駅伝大会が実施され、本学保健学部救急救命学科の学生10名と教員5名が救護ボランティアスタッフとして参加しました。三鷹市民駅伝大会は、三鷹中央防災公園・元気創造プラザをスタートし日本無線中央広場をゴールとする三鷹市内全4区間12.5キロのコースで構成され、今年是一般の部・シニアの部・中学生の部から195チームが参加しました。また、SUBARU総合スポーツセンター地下サブアリーナでは、約100名の4～5歳児を対象にコミュニケーション陸上部の監督・コーチによる「走りっこ教室」が実施され、大勢の参加者がイベントへ来場しました。



本学保健学部救急救命学科の学生と教員は、本大会の中で3か所の中継所と大会本部の救護及び「走りっこ教室」の応急救護を担当しました。実習とは異なる環境で、定外の事柄にも対応しなければならない事象が起きる中、大会全体を通して大きな事故やけがの発生もなく、参加者の安全確保を図る三鷹市民駅伝大会の一助となることが出来たようです。

第5回羽村にぎわい音楽祭、今年も大盛況♪

2018年12月2日(日)羽村駅西口前特設会場にて、第5回羽村にぎわい音楽祭が開催されました。

羽村にぎわい音楽祭は、羽村市の2つの商店会(羽村東口商店会・本町西口商店会)が地域住民との交流を深めることを目的とし、共同で実施されるイベントです。市内商店会員13店舗の模擬店の出展に加え、抽選会やアーティストを招いた音楽イベントなど、様々な催しを楽しみに多くの方が来場されます。

本学からボランティアスタッフとして参加した6名の学生は、会場内の保安や来場者の安全確保、イベント進行補助などのお手伝いをしました。大規模イベントでのボランティア活動は、参加した学生にとって貴重な経験となったようです。



ダディベアの会主催イベント

『みたかキャンドルナイト 2018!』



2018年12月1日(土)三鷹市立第一小学校で「みたかキャンドルナイト 2018」が開催され、古本泰之ゼミナールの学生4名がボランティアスタッフとして参加しました。「みたかキャンドルナイト」は、地域コミュニケーションの活性化を目的として三鷹市立第一小学校地区のお父さんたちが集まってイベントを行っている「ダディベアの会」主催の恒例イベントです。

当日は小学生を対象にワークショップを行う午前の部と、地域向けにランタン点灯会や近隣中学生による演奏、冬の打上花火を行う午後の部の2部構成でした。本学学生は一日を通してイベント準備や運営補助等のボランティア活動に励みつつ、一緒にイベントを楽しみました。



Introduction >> 八王子いちよう塾



八王子学園都市大学では、八王子市民の方々を中心にいつでも多様に学べる場として『いちよう塾』を開講しており、大学コンソーシアム八王子の加盟大学である杏林大学では、本学の特色を活かして医療系や人文社会科学系の講座を受講生へ提供しています。受講形式は2種類あり、井の頭キャンパスで開講される大学の講義(全15回)を受講して頂くか、八王子学園都市センターで杏林大学の教員が行う講義(平均3~5回)を受講して頂く形をとっております。今年度、井の頭キャンパスで開講している後期提供講座『児童英語教育実習』の受講生からは、「一緒に受講している学生が明るく、話しかけてくれることが嬉しいです、良い刺激を受けています。」「最初は学生と一緒に授業を受けることが不安でしたが、先生が学生といちよう塾生を区別せずに接してくれますし、授業を受けるだけではなく課題を添削して貰えることが嬉しいです。」といったコメントが寄せられ、学生と共に学習できる環境を楽しんで頂いております。



地域交流
イベント

第2回地域ケアネット合同事業、実施!

三鷹市では、平成16年度から、高齢者や障がい者、子育て家庭をはじめ、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう新たな支え合いのしくみ「地域ケアネットワーク」作りを、市内7つのコミュニティ住区の単位に分けて活動を進めています。この7つの地域ケアネットワーク(ケアネット)では、共通課題として「活動への参加者や担い手を増やしていくこと」を抱えており、昨年度は合同事業として、市内の大学(ICU、杏林大学、ルーテル学院大学)に通う学生とケアネットの構成員が情報や意見を交換する場を設けました。その結果、地域と大学や学生の間で有益な相互理解が図られたことから、今年度はより発展した内容で第2回合同事業を開催することに決定しました。その第2回合同事業が、平成30年度12月2日(日)にさんさん館で開催され、市内大学の学生やケアネットの構成員に加え、大学教員も参加する形で情報や意見交換が行われました。参加した健康福祉学科の学生2名からは「地域の方々と沢山のことを話すことができ良い経験になり、自分たちだけに留めておくのはもったいないと感じた。」「地域のみなさんと地域での繋がりが活動について話し合う場に参加できて勉強になった。これからの学びに繋げていきたい。」などのコメントが寄せられ、有意義な意見交換の場とすることが出来たようです。

